

2019年度

「空の日」

中学生海外主要空港派遣事業

7/22(月) ~ 7/27(土)

Seattle・Phoenix・Los Angeles

= 研修レポート =



「空の日」・「空の旬間」実行委員会

事務局： 一般財団法人日本航空協会
事業委嘱・編纂： 公益財団法人JAL財団

目 次

1.	はじめに	1
2.	7月22日(月)～7月27日(土) 旅程 一覧	2
3.	研修写真	3
4.	研修レポート	
	「夢への一步」 山村 すす音 多古町多古中学校 2年	15
	「成田から夢に繋がる貴重な6日間」 鈴木 優菜 芝山町立芝山中学校 2年	17
	「私がこの夏に成長したわけ」 宮淵 はな 稲敷市立新利根中学校 2年	19
	「世界に羽ばたくための道」 小柴 颯月 香取市立山田中学校 2年	22
	「私と世界を繋ぐモノ」 中島 拓海 河内町立かわち学園 2年	24
	「ずっと続いてほしい研修」 佐藤 祐弥 栄町立栄中学校 2年	27
5.	編集後記 引率者より メッセージ 成田国際空港株式会社 (NAA) 樋口 翔一 公益財団法人 JAL財団 添乗員 上野 友子 公益財団法人 JAL財団 リーダー 比嘉 君枝	29
6.	「空の日」中学生派遣事業一覧	32

1. はじめに

「空の日」・「空の旬間」実行委員会では、「空の日」(9月20日)記念事業の一環として、次世代を担う中学生を海外主要空港へ派遣し、空港や航空関連施設の見学を通じて、空港と航空への関心と理解を深めてもらい、視野の広い若者へと育成することを目的として、1990年度(平成6年度)より“中学生派遣事業”を実施しています。これまでに426名の皆さんが参加されるにいたっておりますが、26回目の実施となった今年度は6名の代表中学生を、アメリカのシアトル、フェニックス、ロサンゼルスへ派遣いたしました。

この研修レポートは、参加した中学生が研修終了後に書かれた作文を中心に纏めたものです。空港の主要な施設、ボーイング社工場、運航乗員訓練所、運航乗務員・客室乗務員の仕事を見学することにより、空や空港について考え、また、現地の学生と国際交流の素晴らしさを体験したことが、参加された皆さんの国際的な視野と将来の夢を広げる一助となっていれば幸いです。

なお、今年度の事業が所期の成果を挙げ、無事に終了できましたことは、ひとえに企画、そして受け入れに全力を傾けてくださった関係各位のご協力、ご支援の賜物です。

成田国際空港(株)の皆さま、(株)JALグランドサービスの皆さま、ボーイング社エバレット工場の皆さま、カミアックハイスクールの皆さま、ロサンゼルス空港の機内食工場の皆さま、JALフェニックス運航乗員訓練所、ANA、JALの各シアトル・ロサンゼルス支店、両社の各運航・客室乗務員の皆さま、ボーイング社・機内食工場の見学をご手配くださったJALの皆さまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2019年度「空の日」記念事業の一環として作成されたこの研修レポートが、皆さまの今後の事業推進におけるご参考となれば幸甚です。

2. 7月22日(月) ~ 7月27日(土) 旅程 一覧

7/22 (月)		13:30 14:15	成田空港にて研修開始式、 成田空港施設見学
	東京(成田)発	18:15	NH(全日空)178 便にてシアトルへ 機内で客室乗務員の話聞く
	シアトル着	11:25	
			市内見学(パイクプレイスマーケット~スペースニードル) シアトル泊
7/23 (火)			ボーイング社エバレット工場見学 Future of flight(航空博物館)見学、 カミアックの生徒と合流し、昼食懇親会
	シアトル発	18:05	WN(サウスウエスト航空)2617 便にてフェニックスへ
	フェニックス着	21:20	フェニックス泊
7/24 (水)		09:00 ~	フェニックス JAL 乗員訓練所見学
			セドナ見学 フェニックス泊
7/25 (木)	フェニックス発	09:15	WN(サウスウエスト航空)2066 便にてロサンゼルスへ
	ロサンゼルス着	10:45	到着後、機内食工場見学 昼食:JAL ビジネスクラス機内食
			ユニバーサルスタジオ見学 ロサンゼルス泊
7/26 (金)		09:00 11:15 ~	研修の振り返り JL061 便の乗務員と対面 ロサンゼルス空港施設見学
	ロサンゼルス発	13:10	JL(日本航空)061 便にて東京(成田)へ 機内で客室乗務員の話聞く 機内泊
7/27 (土)	東京(成田)着	16:45	遅延により、19:45 成田に到着

3. 研修写真

第 1 日 目 7 月 22 日 (月)

7/22 (月)		成田空港にて研修開始式、 成田空港施設見学
	東京(成田)発	NH(全日空)178 便にてシアトルへ 機内で客室乗務員の話聞く
	シアトル着	市内見学(パイクプレイスマーケット、スペースニードル等) シアトル泊

成田空港にて研修開始



成田空港施設見学
B787 機見学

成田国際空港(株)・(株)JAL グランドサービスの皆さんの案内



旧コントロールタワー見学



花時計にて



乗務員の仕事をを知る

NH178 便にてシアトルへ(所要時間:9 時間)



- ◆シアトル空港到着
ANA 支店、NH178 便 乗務員の皆さんと一緒に



- ◆シアトル市内見学



- ◆レーニア山



- ◆ガムウォール



- ◆その他写真



第 2 日 目 7 月 23 日 (火)

7/23 (火)			ボーイング社エバレット工場見学 現地カミアック高校の皆さんと一緒に航空博物館見 学と昼食懇親会
	シアトル発	18:05	WN(サウスウエスト航空)2617 便にてフェニックスへ
	フェニックス着	21:20	フェニックス泊

ボーイング社エバレット工場見学



現地学生(Kamiak High School)との交流
お揃いの T シャツで記念撮影



第 3 日 目 7 月 24 日 (水)

7/24 (水)	09:00 ～	JAL フェニックス運航乗員訓練所見学
		セドナ見学

フェニックス泊

◆JAL フェニックス運航乗員訓練所見学、訓練機の操縦席体験



◆シミュレーター体験



セドナ見学



第 4 日 目 7 月 25 日 (木)

7/25 (木)	フェニックス発	09:15	WN(サウスウエスト航空)2066 便にてロサンゼルスへ
	ロサンゼルス着	10:45	到着後、機内食工場見学 昼食: JAL ビジネスクラスの機内食を試食
			ユニバーサルスタジオ見学 <div style="text-align: right;">ロサンゼルス泊</div>

ロサンゼルス空港到着後、機内食工場“フライングフードグループ”見学



厳重な衛生装備で見学

◆その他、機内食見学





ユニバーサルスタジオ見学



第 5 日 目 7 月 26 日 (金)

7/26 (金)		08:30	研修の振り返り
		11:15	JAL 乗務員と対面 ロサンゼルス空港施設見学
	ロサンゼルス発	13:10	(日本航空)JL061 便にて東京(成田)へ 機内で客室乗務員の話を書く 機内泊

ロサンゼルス空港研修



◆JAL 支店、JL061 便乗務員の皆さんと一緒に



◆乗務員の仕事知る



第 6 日 目 7 月 28 日 (土)

JL061 便 成田到着



4. 研修レポート

「夢への一步」

多古町立多古中学校 山村 すず音

今回の研修に行くにあたって、当初私は「面白そう」という軽い気持ちで応募用紙に書き込みました。

しかし、次第に不安と緊張が込み上げ、軽い気持ちで応募したことを少し悔やみました。それでも私は、せっかくの機会なので二つの目標を立てました。一つは「英語の上達」、もう一つは「夢のための吸収」です。これらの目標を達成させるため、学ぶべき部分ではしっかりと集中しました。



一日目、普段会話することの出来ないような整備士の品川さんや、全日空のCAさん達に機体のことや、お客様への接客対応等で意識されている点などを勉強させて頂きました。

私は一度、小学校で空港見学をしたことがありましたが、今回のようにハンガーまで行き機体を目の前にして直接学ばせていただいたことは無かったので、とても貴重な体験となりました。

機内でCAさんの研修を行った時、途中で気流が悪くなってしまったため研修時間は短くなってしまいましたが、状況に応じてお客様一人一人に丁寧に対応されている姿や、身だしなみへの気遣いがとても印象に残りました。CAさんというと女性のイメージが強くありましたが、男性もCAとして活躍している職場だということを知ることができました。

シアトルに到着し、入国審査が初めての私はとても緊張してしまい、入国管理官の方の言葉を聞き取ることが出来ずにいると、後ろで審査を受けていた上野さんが助けてくれました。

審査員の方が最後に日本語で「アリガトウ」と言ってくれたおかげで、少し緊張が解けました。

入国手続き後、シアトル市内の観光をしました。スペースニードルから市内を一望すると、日本の風景とは違い、港近くのマーケットも昼過ぎまで賑わっていることも確認できました。

夕食をレストランで食べたのですが、自分の食べたいものを英語で注文することが難しかったです。

また、料理が運ばれてくると、その量の多さに驚きました。とても美味しかったのですが完食することは難しかったです。

二日目は、ボーイング社のエバレット工場を見学しました。見学者専用の名札をもらっただけでとても嬉しかったです。

工場内に入るとトリプルセブンなど数々の大きな機体が出迎えてくれました。一般の見学の方は四階からの見学のみだそうです。私たちは一階から見学することが出来たので、私はその迫力に圧倒されました。飛行機の元の素材が炭素繊維であれば、塗装前の機体の色が黒であるなど教えていただき、間近で飛行機をたくさん見たことで、何の素材が使われているのかを色で判断することが出来ました。ボーイング社で学んだことを振り返ると、とても楽しい気持ちになりました。また機会があれば、今度は四階から見学をしたいと思います。

Kamiak 校の生徒さん達と一緒にランチをして、高校見学をしました。自分の英語が伝わるのか不安でしたが、現地の生徒が私の言いたいことをくみ取ってくれたおかげで、伝えることが出来ました。

英単語や文法に多少不安があっても、表情やボディランゲージを使えばある程度の内容は伝わることを学びました。また、アメリカでは授業で黒板ではなくホワイトボードを使うことに少し驚きました。

現地の高校生と触れ合ってみて、言葉の壁があっても落ち着いて話せば、ある程度の言葉は伝わるという経験を活かして積極的に話そうと思うことが出来ました。

シアトルからフェニックスまで飛行機で移動したのですが、その間機内の CA さんを観察していると、制服は統一されていて、役職による制服の違いは見られませんでした。

三日目の JAL 乗務員訓練所を見学、体験では、女性パイロットという職業に憧れを持ちました。

訓練機に試乗した際に、あの大きな期待を操縦することがとてもかっこいいと思いました。シミュレーター体験の難しさや、パイロットというお仕事について、とても貴重なお話を聞かせていただくことが出来ました。

四日目は、朝から飛行機でロサンゼルスへと向かいました。CA さんは皆個性豊かで、何個もブレスレットを着けている方がいたり、制服着用時の規則は日本ほど細かくはないのだなと思いました。

機内食工場の見学は、ほとんどの部屋で冷凍食材を扱うため寒い部屋が多く、従業員の方も真冬のようにダウンジャケットを着て作業を行っていました。食品を扱う所ということもあり、衛生管理には余念がありませんでした。メニューは季節の食材を入れるなど、四季を大切にしている様子がうかがえました。

最終日、搭乗開始前の飛行機の中を見学させていただきました。ファーストクラスから順に説明していただき、最後は、普段入ることの出来ないCAさんの寝室に案内していただきました。天井は低いのですが、ベッドがありました。搭乗後も機長さん、CAさんにお時間をいただき、日本は山に囲まれているため離着陸がどの空港よりも難しいことや、そのため安全を何よりも優先していることなどを聞くことが出来ました。

今回の研修では、私の知らなかった世界について多くのことを学ぶことが出来ました。職業として名前を知っていても、実際目に触れる機会がなかったため、とても充実した研修期間を過ごすことが出来ました。

「英語の上達」という一つ目の目標は、言葉の速さについて行けず達成できたとは言えませんが、

英語に対する関心は以前に比べて高くなり、いつか自分の気持ちをきちんと海外の方に伝えられるようになりたいと強く思いました。

もう一つの目標であった「夢のための吸収」については、「将来航空会社か、海外で働きたい」と心から思うことが出来たので、目標は達成できたと思えました。

今回の研修に参加しなければ、知る事の出来なかった世界を体験することが出来たので、「はじめの一步」を踏み出せた気がします。

『 成田から夢に繋がる貴重な6日間 』

芝山町立芝山中学校 鈴木優菜

私がこの研修に参加しようと思ったきっかけは、先生が「アメリカに行ってみない？」と声をかけてくださった事でした。初めは、今まで会ったことのない友達と海外へ行くなんで、実際自分がそんなことできるのか不安でいっぱいでした。しかし『空の日』の研修内容を深く知っていくうちに、とても勉強になりそうな研修で、めったにできないような体験がたくさんあると感じ、少しずつ参加したいという気持ちが強くなっていきました。



そして出発日。初めてのチェックイン手続きを済ませ、事前説明会で一度しか会ったことのない友達と開始式や成田空港の見学を緊張したまま行いました。

成田空港の見学では、管理棟から滑走路を見たり整備ハンガーで大きな飛行機を間近で見ながら色々な説明を受けました。まだまだ始まったばかりなのに、これからもっと色々な事を学ぶと思うと、より期待がふくらみました。

いよいよ出発予定時刻になり私たちは、全日空直行便に乗って日本を出発しました。行く前は9時間のフライトはとても長いのだろうなと思っていましたが、快適な空間で面白いテレビを見たり、美味しい機内食を食べていたらあっという間にシアトルに着きました。シアトルではまず市内観光をしました。パイプレイスマーケットの魚市場ではお客さんが注文した魚を投げ渡したり、ガムウォールには噛み終わったたくさんのガムがあり日本とは違った光景を見ることができました。またスペースニードルでは高さ180mのガラス張りの床からシアトルの町を見ました。今にも落ちてしまいそうで足元がすくみましたが天気も良く、とても素晴らしい景色でした。

2日目はボーイング社エバレット工場見学と現地の高校生との懇親会をしました。ボーイング社の工場内はとても広く、色々な種類の大きな飛行機が何機もおいてありました。空を飛んでいるときは、とても小さく見える飛行機の1つ1つの部品は、間近で見ると私よりもはるかに大きくて驚きました。特にまだ世に出回っていない777Xの飛行機を見ることができた時は心を動かされました。働いているみなさんが真剣に作業している姿を見ているとこの仕事にやりがいと誇りをもっているように感じました。

午後は、私が一番楽しみにしていた現地の高校生との懇親会をしました。3つのグループに分かれ、アメリカらしい大きなピザを食べながら英語で会話をしました。初めは自分の英語に自信がなく、積極的に話すことはできませんでしたが、高校生が笑顔で話しかけてくれるのをみて、私もだんだん積極的に話せるようになり、最終的にはジェスチャーをつけながらコミュニケーションをとれるようになりました。文法があっても『伝えよう』という気持ちがあれば伝わるという事、もっと英語が上達すればさらに楽しく会話することができるのだろうと感じました。他国の人とこんなに長く英語を使って話したのは初めてだったのでとても貴重な経験になりました。

3日目はJAL乗員訓練所見学、セドナツアーをしました。訓練所では本物のパイロットの方に案内をしてもらいながら小型飛行機に乗せてもらったり、シミュレーター体験をさせてもらいました。シミュレーターでの操縦は想像していたよりも難しく、大変な訓練を受けたパイロットにしかできないものだなという事を実感しました。また、パイロットになればどんな飛行機でも操縦できるものだと思っていましたが、コックピットが全く違らしく、操縦できる飛行機が限られていることを初めて知りました。

午後のセドナツアーでは、実際に肉眼で見る赤い岩石は写真で見るよりもとても大きく、圧倒されました。

4日目の朝は直行便でロサンゼルスに向かいました。サウスウエストの機内では日本よりも男性のCAさんを多く見かけたり、制服や髪型など日本と違うところがいくつかあり、機内でも色々な発見をすることができました。ロサンゼルスでは、機内食工場を見学しました。野菜やフルーツが置いてあるところは冷凍庫のように寒く、働いている人もみんな帽子と白衣を身につけていて衛生面に気を遣っていることがとてもよくわかりました。もちろん、ビジネスクラスの食事は前菜もメインディッシュも美味しかったです。

そして最終日。私達が乗る飛行機はかなりの時間、遅れがでていました。最初は不安に思いましたが、安全な空の旅をするには早さよりも安全を最優先とした判断が必要であるということがわかりました。帰りは全日空の飛行機に乗り、機内見学をしました。CAさんが仮眠をとる場所を見たり、制服を着たり、なかなか出来ない体験をさせてもらいました。

この研修を通して日本と外国の文化の違いや、空港の仕事にはたくさんの人が関わっていることを知りました。将来、私は空港関係の仕事に就いて今度は私が安全な空の旅のお手伝いをしたいと思いました。

最後にこの研修でお世話になった方々、引率して下さった比嘉さん、樋口さん、上野さん、そして5人の仲間たち、私はみなさんの笑顔に助けられ、とても有意義な6日間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

私がこの夏に少し成長したわけ

稲敷市立新利根中学校 宮淵はな

私がこの「空の日」中学生海外主要空港派遣事業に参加したわけは、3つありました。

一つは、飛行機に関係する仕事に就きたいと思っていたからです。私は、今回の派遣事業が初めての海外旅行で、初めて飛行機に乗る機会でした。地面から飛び立つ感覚、初めて空の上から地球を見た景色、すべてが私にとって新鮮でした。特に、飛行機の中から外を見た



たときの空や雲の幻想的な景色は一生忘れられないでしょう。

私には、航空整備士になりたいという夢があります。航空整備士は飛行機やヘリコプターの安全運航を支える整備や点検、修理を行う人です。これは、300人から500人の命を運ぶパイロットと同じくらいたくさんの人の命を預かるとても大切な仕事です。飛行機を修理することができるなんてすごくカッコいいと思っています。

また、自分の視野を広げたかったからという理由もありました。どうしても日本が海外と触れ合う機会が増えた今でもアメリカと日本の考え方では違うことがありました。

アメリカでは、飛行機に乗る時、隣の席に座る人は知らない人だとしても「こんにちは。今日も暑いですね...あ、そのバッグかわいい！」などごくあたりまえに話かけてきます。日本では挨拶ぐらいでしょう。日本にはそのような文化がないのです。

私の「あたりまえ」と思っていた概念を壊したかったのも事業に参加した理由です。

そして、一般の人では一生見られないところを見ることができるのも理由の一つでした。この事業では、ボーイング社エバレット工場見学、機内食工場見学、ほかにも様々なところを見学できます。13歳の普通の中学2年生でここまで見学できる人は本当にほんの一握りにも満たないかもしれません。『『空の日』中学生海外主要空港派遣事業』は、そんな特別な機会でした。

この事業に参加して、私は少し成長したと感じています。

例えば、感謝の気持ちを持てるようになったこと。私は、英語が苦手ですが、今回、アメリカで現地の高校生と話したり、英語で質問したりする場面がたくさんありました。

不安だった私に、担任の先生がインタラクティブフォーラムに誘ってくれました。インタラクティブフォーラムは、茨城県で行われている英語の大会で、各学校3人が英語であるテーマについて話しをします。先生が誘ってくださったおかげで不安がなくなりました。

そして、人との関わり。最初は、話すときもぎこちなかったのですが、参加した6人全員で一緒になって乗り越えてきたおかげで、自分のことをそれぞれ話せるようになり、他の5人のことを知ることができました。最後にはみんなと仲良くなることができ嬉しかったです。

もう一つは、自分の意見をしっかり人に話せるようになったことです。私は、自分の考えや意見を他の人に話すのが苦手でした。相手に、私の考えを否定されてしまったら、と考えると怖くなってあまり自分の意見は言わず、相手に合わせていました。しかし、この事業の一つである現地の高校生との交流で、私

の考えは大きく変わりました。

現地の高校生はみんな自分の意見を発言しあいつつ、自分の意見と違っていても受け入れてくれました。それは、日本でも同じでした。私が勝手に、意見を否定されると思い込んでいたということを、この交流会があったおかげで気付くことができました。

また、自分の夢を堂々と公言できるようになりました。航空整備士は、男性の方が多いというイメージがありました。だから、女の私が航空整備士になりたいと言ったら周りの人におかしいと思われてしまうのではないかと、不安で言えませんでした。しかし、フェニックスの JAL 乗員訓練所や帰りに乗った飛行機 JL061 便の機長さんから話を聞き、女性の機長や副機長もいることが分かり、安心しました。お話を聞いたおかげで、堂々と公言することができました。

この「空の日」中学生海外主要空港派遣事業ではどんなことでも自分たちでやらなければなりません。勿論、行く先々のアポイントメントやホテルの精算などのことは引率者の方や主催者の方にやっていただきました。しかし、飛行機やホテルのチェックイン、見学先へのお礼の手紙を書くときなど、できるだけのことを自分たちでやりました。

そのおかげで私は、この事業の後、8月に家族で北海道に飛行機で行ったのですが、その時に率先して飛行機のチェックインなどをおこなうことができました。

「空の日」派遣事業に参加する前のただひたすら誰かの後をついていた私が、大きく成長したと母に言われたほどです。

「空の日」中学生海外主要空港派遣事業に携わってくださった皆さん。私は、皆さんのおかげでさらに成長することができました。本当にありがとうございました。

航空整備士になることは、簡単なことではありません。ですが、今回の本当に特別な機会を無駄にせず私の夢である航空整備士になれるよう日々努力していきます。

「世界に羽ばたくための道」

香取市立山田中学校 小柴颯月

この研修の話を先生から聞いた時、僕はすぐに行きたいと思い、そのまま先生に伝えました。自信はなかったのですが、熱意が伝わり、選ばれることができました。僕は、「アメリカで本場の英語に触れられる。」と興奮したものの、出発日が近づくにつれ、不安な気持ちも膨らんできました。



そんな気持ちで出発日を迎えました。しかし、一緒に研修に参加するメンバーや引率してくれる方々と顔を合わせると、不安が期待に変わりました。

研修のスタートは成田空港で普段入ることのできない制限区域での見学でした。飛び立つ飛行機や整備中の機体はどちらも間近で見ることができ、迫力で圧倒されました。また、説明してくれた方の話がとても面白く、緊張していた気持ちはなくなっていました。アメリカへと出発し、機内で少し寝たものの到着したアメリカはまだ昼間でした。アメリカは想像に素晴らしく、眠さも忘れてシアトルの街を観光しました。スペースニードルからの景色がとても印象に残りました。

この夜食べたステーキはとても大きくみんな食べきれずに残していましたが、僕はあまりの美味しさに一気に平らげてしまいました。

2日目はシアトルでボーイング社のエバレット工場を見学しました。世界最大の航空機製造工場で飛行機が完成するまでの過程を見ることができました。飛行機の部品は世界各国の工場の手分けをして作られていることに驚きました。各国の工場からこのエバレット工場に集められた後、ボーイング787は約21日間で1機が完成するそうです。飛行機1機の製造に多くの人が携わっていることを知り、驚きました。

午後からは地元の高校生と交流しました。

高校生とピザを食べながら日本のアニメの話題で盛り上がりました。日本で受ける英語の授業と違い、なかなか上手く伝わらず苦戦しましたが、知っている単語とジェスチャーを交えながらの会話で伝わった時はとても嬉しかったです。

3日目はフェニックスでJALの乗員訓練所を見学しました。「安全にお客様を目的地まで送り届ける」ことを第一に、操縦訓練が行われていました。その様子から「安全」の大切さを強く感じました。シュミレーター体験では、上手く

飛行機を飛ばすことができました。実際に小型プロペラ機にも乗せてもらいました。この研修で一番楽しみにしていた施設だったのでいろいろ体験させてもらって楽しかったです。午後は赤い岩山に囲まれたパワースポットとされるセドナに行きました。出発前からセドナは暑いと聞いていましたが、想像以上に暑く、汗が止まりませんでした。涼しかった日本から行ったため、体力を奪われましたが、その暑さを吹き飛ばす程の迫力のある絶景でした。また、その時に撮影したみ

んなでジャンプした写真は何度もトライしたおかげでみんなの笑顔につながりました。

4日目はロサンゼルスに移動して空港でJALの機内食工場の見学に行きました。ビジネスクラスの機内食を初めて試食させてもらい、エコノミークラスの機内食と違ってオシャレな見た目に感動しました。工場では地上と上空での味覚の変化などに注意を払い、調理し、また食の安全にも気を付け、日々の衛生面に配慮して仕事をしていました。午後からはユニバーサルスタジオへ行きました。日本のユニバーサルにはないアトラクションもたくさんあり、スケールの大きさを肌で感じました。6人でジェットコースターに乗ったり、バタービールを飲んだりしました。研修を一瞬忘れて楽しい思い出となりました。

5日目はロサンゼルス空港で、僕たちの帰りの便の飛行機を見学させてもらいました。CAさんたちが出発準備をしている中、機内の説明を受けました。特にCAさんが仮眠するスペースがあることを教えられ驚きました。乗務員のみなさんの機敏な動きの中にも親切で冷静に働く姿に感激しました。

僕はこの研修に参加して、航空関係の仕事の大変さを知ることができました。どの施設においても一般の人が入ることのできない場所に入れてもらいとても貴重な体験をさせていただきました。成田空港の近くで育ったこともあり航空関連の仕事に就きたいと考えていました。この研修に参加してその気持ちが確実となり、将来は管制官になりたいと思うようになりました。今回見学させてもらった施設で働いている方々のように仕事に責任を持ち「安全」を常に心がける管制官になりたいです。

「私と世界を繋ぐモノ」

河内町立かわち学園 中島拓海

今回、「空の日」中学生海外派遣事業に参加させていただき光栄に思います。

この研修に参加した動機は、私の将来の夢はパイロットであり良い機会になると考えたためです。

今回の研修での目標はパイロットになる上で航空機のことについて多く知ることでした。それと同時に、苦手な英語を克服するため現地の中学生と交流し、英語の能力を高めることも目標としました。



様々な研修をした中で特に印象に残ったことは現地の中学生との交流とフェニックス JAL の乗員訓練所です。

2 日目の現地中学生との交流では、アメリカに行く前に英語を勉強していましたが、知識不足のため非常に心配でした。

そして、いよいよ現地中学生との交流が始まり、最初はどちらも何を話せばいいか迷ってしまっただけの間黙っていました。この時にもっと苦手な英語を勉強しておけばよかったと感じました。しかし、後悔しても遅いのでとりあえず自己紹介をしました。ある 1 人の友人がサポートしてくれ何とかコミュニケーションがとれ、次第に仲良くなることができました。

多少英語ができなくても、身振り手振りを使いながらコミュニケーションを取ることで心は通じるという事が学べました。

目標達成度は 100%ではありませんでしたが、生の英語に触れることはでき、現地の方と交流する良い機会となりました。

次に 3 日目の研修に行ってフェニックス JAL 乗員訓練所での研修です。

僕は将来パイロットになりたいと思いがあったため、以前より他にも航空施設の見学の機会は多々ありましたが、今回の場所は一番楽しみにしていた場所です。

訓練所での研修では飛行機の仕組みやパイロットになる道について教えていただきました。私は将来ここで仕事をする可能性があるため、一生懸命に話を聞きました。そこで驚いたことは、機長になるには訓練を開始してから約 15 年かかることです。試練を積み重ねて副操縦士からようやく機長になることができると実感しました。約 15 年訓練しなければと機長にはなれないというこ

とを聞いて大変だと感じましたが、その過程で様々な達成感が味わえると仰っていたので努力する甲斐はあると感じました。

乗員訓練所では、小型飛行機のシミュレーターも体験しました。訓練生が実際に使っているシミュレーターで訓練所での一番の楽しみでした。実際に体験してみると思っていたより難しく、これでは絶対墜落してしまいそうになりましたが、隣に座っていただいた機長さんが丁寧に教えてくれ、何とか操縦することができました。

この小型飛行機の免許を持っていないと、飛行機の免許を取ることができないので、小型飛行機の練習のような感覚で学ぶことができました。次に外に出て今実際に操縦した小型飛行機に乗せていただきました。小型飛行機に乗る機会は中々ないため大変貴重な経験となりました。

次に4日目のロサンゼルス機の機内食工場の見学に行きました。この時私はリーダーになっていました。

機内食工場では、全て英語を使わなければいけないのかと思いとて心配でした。

研修始めの頃は実際に見学した際、現地の英語を理解するのに苦労しました。しかし、アメリカ研修が4日目であったためか、少し自身の理解力が向上していると感じ、微かに意味を感じ取ることができました。

工場の中を見学して感じたことは、様々な工程に分かれて最終的にすぐ運ぶことができるように色々な工夫がされており、非常興味深く拝見させていただきました。

昼食はビジネスクラスの機内食であったため、工場の中で作ったものをすぐに食べました。ビジネスクラスの機内食は、高級感がありエコノミークラスとは一味違うと実感しました。

そして工場の方に質問をする時間をとっていただきました。その際、私は一日に何食の機内食を作るのかと質問をし、一日に1万2000食作ると聞き驚きました。工場の方も大変だと思い感謝して御試食させていただきました。

最後に帰りの飛行機でも研修がありました。パイロットに会えるということで楽しみにしていましたがある1人の研修生が体調を崩してしまい帰りの飛行機でもリーダーをやることになっていましたができなくなり、僕がやることにしました。

急でしたが挨拶やお礼をスムーズに言うことができました。

機長さんやCAさん達のお話を聞いてとても光栄に思いました。

この『空の日』の海外研修でのよくできた点は、急に役が回ってきても断らず引き受けることができたことです。普段このような役が回って来た時にいつも

他人に任せになってしまいますが、今回の研修では少しでも人を引っ張って行けたらいいなと考えていたため、積極的に引き受けました。

次に反省点としては、英語を積極的に使うことができなかったということです。2日目の現地中学生達との交流で色々考えて行ったのですが、恥ずかしくなってしまう何を話せばいいのかわからなくなっていました。そのため、より英語の勉強が必要であると痛感致しました。

最後になりますが、少し戸惑いながらも多くの関係者の方々のおかげで、充実した5日間にすることができました。今回引率して下さった樋口さん、比嘉さん、上野さんを始めとするその他多くの皆様へ御礼申し上げます。将来の夢への第一歩を踏み出すことができました。今回の経験を今後の人生の糧として、更に邁進していく所存です。

ずっと続いてほしい研修

栄町立栄中学校 佐藤祐弥

学校で配布された「空の日」募集の手紙を見た時は、アメリカに行きたい、空港のいろいろなことが知れるなんて楽しそうと思い、なんの不安もなく参加を希望しました。

事前説明会を終えると、学校の代表者であること、研修の大変さ、一緒に行く違う中学校の5人と仲良くできるのかと、改めて実感し急に不安になりました。



それと同時に、目標に向かって頑張っていこうという思いも強くなりました。自分の目標は現地の英語を知り、自分なりに理解し活用することです。

初日は成田空港施設見学から始まりました。普段は入ることのできない整備ハンガーに入っての見学では、整備士の方に本物の大きな機体の真下で詳しく役割や特徴についての説明を聞きました。初めてこんなに近くで飛行機を見て感動しました。初めから未知の体験ばかりで、そのあとどんな感動が待っているのか期待しながらシアトル行きの飛行機に乗りました。成田からシアトルまでの機内では、客室乗務員の仕事の見学をしました。お客様への細かいところまでの気遣いを常に考えて仕事をしているのがわかりました。シアトルに着いてからは市内観光をしました。店内に入るときもセキュリティーが厳しく驚きました。ホテルに着くころにはメンバーの中の男子とは話がはずみ、仲良くなってきました。

2日目は、ボーイング社エバレット工場見学をしました。一番印象に残っているのは、飛行機の組み立てが21日間という短い期間で終了してしまうことです。そのあとは、現地の高校生との交流会で一緒に昼食をとりました。日本のアニメのことをとてもよく知っていました。お互いに自分は英語、高校生は日本語を頑張って話したり、聞いたりしていました。夕方には飛行機でフェニックスに向かいました。

3日目は、一番楽しみにしていたJALの乗務員訓練所に行きました。フライトシミュレーターは、実際に訓練生が使っているもので体験することができました。本当に飛行機を操縦しているかのようにとても興奮しました。教官の方に助けてもらいながら飛ばせることができました。パイロットになるには何度もテストがあり、安全・安心のため勉強が欠かせません。簡単にパイロットに

なりたいと言えるものではありません。将来の夢として考えるには、後悔しないように勉強し、学校生活を送っていくことが必要だと思いました。その後パワースポットとして知られているセドナへ行きました。気温が 40 度近くありました。湿度が低いと聞いていましたが、前日に雨が珍しく降ったということで湿度もありとても暑かったです。パワーがずっと続くように広大な景色を目に焼き付けてきました。だんだん女子とも話せるようになり、みんなで会話をするようになってきました。

4 日目の朝には、飛行機でロサンゼルスへ移動しました。機内食を作っている工場の見学をしました。機械に頼っておらず、多くは人の手で作られています。それが美味しさの秘訣になっているのかなと思いました。ビジネスクラスの食事を頂きました。とても豪華でおいしかったです。午後からはユニバーサルスタジオを見学しました。すべて英語での案内なので大変でしたが、何とか聞き取り、頑張りました。まだまだ英語の勉強の必要性を感じました。

最終日は、ロサンゼルス空港施設を見学しました。麻薬探知犬がいました。臭いで麻薬を発見したらその荷物の前で座って知らせるそうです。帰りの成田行きの飛行機に乗ったときは、家に帰れるうれしさもありましたが、みんなとのお別れも近づいていると思うと寂しく感じました。

目標達成ができたかということ、理解をするようには頑張りましたが、まだまだ知らない単語も多く、何より話すスピードがとても速く感じられ、聞き取ることができませんでした。今後は特にリスニング力をつける努力をしたいと思います。

空港業界には世界中の多くの人たちが関わり、成り立っている事を知りました。そしてそれぞれの職業の人たちが安全・安心を第一に考え、責任をもって仕事をしています。

とても素晴らしい経験ができるのでこれからもずっとこの研修が続いていると嬉しいです。よろしくお祈りします。

最後にこのような貴重な機会を与えてくださり、研修のために関わって下さった全ての人に感謝しています。ありがとうございました。

5 . 編集後記 引率者より メッセージ

成田国際空港株式会社

樋口 翔一

空の日ファミリーの皆さん、お久しぶりです！研修にご一緒させていただいた NAA の樋口です。6 日間の研修、本当にお疲れ様でした。その後元気にお過ごしでしょうか。この原稿は 8 月下旬に起稿しておりますが、一ヶ月前の 7 月 22 日に出発した研修ですが、なんだか懐かしく思えてきた今日この頃を過ごしております。



突然ですが、出発の日、私から皆さんにお伝えしたことを覚えていますでしょうか。2 つのことをお話させていただきました。1 つは、元気な状態で研修を終えること。2 つ目は、研修メンバーの 6 人で楽しい研修とすること。思い出しましたでしょうか（笑）

1 つ目の健康面については、まったく問題ありませんでしたね。長時間に及ぶ飛行機での移動や夜遅くまでの課題など大変な面もありましたが、それぞれが自覚を持ち、体調管理を行っていたと思います。本当に頑張りましたね。

2 つ目の楽しい研修とすること。こちらはいかがでしたでしょうか。研修中は、大人の前での挨拶や、現地高校生との英語での会話など、緊張する場面もたくさんあったと思います。ただ、この 6 日間のプログラムは皆さんが大人になってもなかなか経験することのできない貴重なものです。そういった研修を、同じ仲間と経験できたということはかけがえのない財産になると思います。この研修を振り返ってみて、行って良かったなと思えたら、この 2 点目も大成功だと思います。

今回、航空業界の様々なお仕事に触れていかがでしたでしょうか。楽しいそうとか、やってみたくとか、興味を惹かれたものはありましたでしょうか。皆さんはまだ中学校 2 年生で、将来に向けて無限の可能性が広がっています。職業のことを考えるにはまだ早いかもしれませんが、今回の研修の思い出はしっかりと記憶に残り、仕事選びをする際にも思い出されることと思います。航空業界といっても様々なお仕事がありますが（研修中にたくさん学びましたよね！？）私自身は航空業界で働く一員として、皆さんになじみのある成田国際空港の発展に貢献するお仕事をしていますので、いつか皆さんと同じフィールドで働けることを楽しみにしています。成田空港について知りたいことや聞き

たいことがあればいつでもご連絡くださいね。

また、フェニックス訓練場の山本キャプテンもおっしゃっていましたが、今、目の前にあることに全力で挑戦すること、これは本当に大切なことです。今やっている部活でも英語でも趣味でもなんでもかまいません。「一生懸命取り組む力」は何事においても大切なことです。その力を磨いてくださいね。

最後に、皆さんのおかげで私自身もものすごく楽しく、学びの多い研修とすることができました。研修を企画してくださった関係者の皆様、快くお子様を送り出してくださった保護者の皆様、一緒にコーディネートしてくださった比嘉さん、上野さん、そして、空の日ファミリーの生徒6人にお礼の言葉を伝えさせていただき、振り返りとさせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。いつの日か、皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

(公財) JAL財団 添乗員 上野 友子

ゆうな、しばちゃん、すず、ゆうや、ぶっちー、たくみん、皆さんお元気ですか？ みんなでお互いをどう呼び合おうかということから、始まり一緒に過ごした濃厚な6日間を思い出します。

空の日の研修から帰国して成田空港の解散式で、皆さんから6日間の研修を終えて目標が達成できたか？一人ずつにお話して頂きました。あれから数か月が経ちましたが、ご家族の方や学校の先生、お友達に皆さんが今回の経験を通して感じた事、見てきたこと、学んだ事などお話できていますか？英語も頑張って勉強していますか？

初めて会った仲間と、初めての海外、初めての飛行機、きっと初めての事ばかりの毎日だったことと思います。でもこの研修はそればかりではなく普通では訪れることのできない貴重な見学場所、航空業界で活躍されている方々と直接お話できた大切な時間など、行きたくても行けない場所、したくてもできない体験をたくさんさせて頂けたこと、携わってくださった方々に本当に改めて感謝して頂きたく思います。そして多くの現場で働く皆さんから、将来一緒に働きましょう。などとお声をかけて頂いたことも嬉しかったですね。実際にこの研修に参加して夢を叶えた生徒さんもいるので皆さんも近い将来、今回見学させていただいた場所で働く日も近いのかもしれないですね。

皆さんにも是非夢を持ってほしいと思います。そしてこの研修がその夢のステップとなれば嬉しいです。まだ将来の夢が決まらなくても今回経験したことが、きっかけの一つになることを願っています。

そのために皆さんができることは身近にたくさんあるのではと思います。元気に学校に通い、勉強もしっかりして、たくさん友達と遊び、心身を鍛えてほしいと思

います。そして当たり前のことですが、元気よく笑顔で挨拶をしたり、人の目を見て話すことそんなことから心がけてみることも大事ではないでしょうか？いつか大人になった皆さんにまたお会いしてみたいと思います。

最後になりましたが、ご多忙の中スケジュールを調整頂き、現地では温かく迎えてくださり、丁寧にご案内下さいました各関係機関の方々に心より感謝申し上げます。

（公財）JAL財団 リーダー 比嘉 君枝

あっという間に時間が経ち、季節が進みましたね。皆さん、その後元気に過ごしていますでしょうか。

まずは、皆さんがこの空の日研修の6日間を、笑顔で無事に過ごせたことを、とても嬉しく思っております。皆さんと一緒に過ごした6日間は、私にとっても心豊かになる有意義な日々でした。

研修中は、分刻みで行動する忙しいスケジュールでしたが、行く先々の皆さまに温かく迎え入れていただき、充実した内容ばかりで、感動の連続だったのではないのでしょうか。

皆さんには、毎日リーダーを担当していただきましたが、一人ひとりが日頃の学校生活や家庭で身に付けてきた力を発揮し、全員がリーダーとしての自覚を持ち行動してくれた姿を大変頼もしく思っていました。各研修先でも、事前に準備した質問を積極的に発表してくれたり、仲間を思いやる姿を見ることができ、この研修を応援してくれている学校の先生やご家族の皆さま、そして、今回お世話になったたくさんの方々の期待にしっかり応えている姿勢に感心しました。

航空業界のさまざまな仕事について直接お話を聞き、本物に触れたことは、学校の授業では決して学べない貴重な体験ばかりです。航空業界の体験だけではなく、食事や観光を通して、異国の文化を知ることもできましたね。この研修で出会った仲間と共有したさまざまな体験は、皆さんの世界を大きく広げるひとつになったと思います。そして、この研修レポートを読んだとき、また新たな発見や気づきがあるかもしれませんね。今回の研修のすべてが、皆さんの心を豊かにし、将来の夢を考えるきっかけや希望につながっていると願っております。

「今」という瞬間は、あっという間に「過去」になってしまいます。しかし、「今」の積み重ねが未来につながります。今を大切にして、これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごしてください。

末尾になりましたが、関係先の皆さまには、大変お世話になりました。ご多忙の中多くの時間を割いてご準備いただき、分かりやすいご案内ときめ細やかなご対応で私たちを迎え入れていただきましたことを、心より感謝しております。誠にありがとうございました。

6. 「空の日」中学生派遣事業一覧

	実施年月日	派遣地区	人数	派遣先
1	1994.8.30 - 9.05	成田	8	欧州（パリ・フランクフルト）
	1994.8.30 - 9.05	中部	6	米国（ワシントン・アトランタ）
	1994.8.30 - 9.04	関西	7	東南アジア（ジャカルタ・シンガポール）
2	1995.8.27 - 9.02	成田	8	欧州（ロンドン・アムステルダム）
	1995.8.25 - 8.31	兵庫	8	米国（ロサンゼルス・シカゴ）
3	1996.8.26 - 9.01	成田	8	欧州（パリ・ミュンヘン）
	1996.8.25 - 9.01	阪神	8	米国（ニュー・ヨーク・サンフランシスコ）
4	1997.8.25 - 8.31	成田	8	欧州（パリ・ロンドン）
	1997.8.24 - 8.31	神戸	8	米国（ニュー・ヨーク・シカゴ）
5	1998.8.19 - 8.21	新潟	5	国内（大阪・東京）
	1998.8.23 - 8.29	成田	8	米国（ニュー・ヨーク・シカゴ）
6	1999.8.18 - 8.20	関西	5	国内（大阪・東京）
	1999.8.22 - 8.28	成田	8	米国（ニュー・ヨーク・シカゴ）
7	2000.7.30 - 8.05	成田・千歳	12	米国（ニュー・ヨーク・シカゴ）
8	2001.7.29 - 8.04	成田・石川県	8	米国（ニュー・ヨーク・シカゴ）
9	2002.7.24 - 7.27	全国 8 空港地区	28	国内（羽田）、アジア（香港）
10	2003.7.23 - 7.25	全国 7 空港地区	14	国内（羽田）
	2003.7.27 - 8.01	全国 3 空港地区	11*	米国（ロサンゼルス）
11	2004.7.27 - 7.29	全国 14 空港地区	27	国内（羽田）
	2004.8.04 - 8.09	全国 3 空港地区	10	米国（シアトル、サンフランシスコ）
12	2005.7.25 - 7.30	全国 3 空港地区	10	米国（ロサンゼルス）
	2005.8.03 - 8.05	全国 12 空港地区	24	国内（中部）
13	2006.7.25 - 7.27	全国 12 空港地区	24*	国内（羽田）
	2006.8.01 - 8.06	全国 3 空港地区	10	米国（シアトル、サンフランシスコ）
14	2007.7.23 - 7.28	全国 3 空港地区	10	米国（シアトル、サンフランシスコ）
	2007.8.01 - 8.03	全国 12 空港地区	24*	国内（中部）
15	2008.7.28 - 7.30	全国 11 空港地区	22	国内（羽田）
	2008.8.04 - 8.09	全国 3 空港地区	11*	米国（シアトル、サンフランシスコ）
16	2009.7.27 - 8.01	全国 6 空港地区	12*	米国（シアトル、サンフランシスコ）
	2009.8.05 - 8.07	全国 10 空港地区	20	国内（中部）
17	2010.7.26 - 7.31	全国 3 空港地区	8*	米国（シアトル、サンフランシスコ）
18	2011.7.25 - 7.30	成田	5	カナダ（バンク・バ-） 米国（シアトル、ロサンゼルス）
19	2012.8.21 - 8.26	成田	6	カナダ（バンク・バ-） 米国（シアトル、ロサンゼルス）
20	2013.7.30 - 8.04	成田	6	カナダ（バンク・バ-） 米国（シアトル、ロサンゼルス）
21	2014.7.29 - 8.03	成田	6	米国（シアトル、フェニックス、ロサンゼルス）
22	2015.7.27 - 8.01	成田	5	米国（シアトル、フェニックス、ロサンゼルス）
23	2016.7.25 - 7.30	成田	6	米国（シアトル、フェニックス、ロサンゼルス）
24	2017.7.24 - 7.29	成田	6	米国（シアトル、フェニックス、ロサンゼルス）
25	2018.7.23 - 7.28	成田	6	米国（シアトル、フェニックス、ロサンゼルス）
26	2019.7.22 - 7.27	成田	6	米国（シアトル、フェニックス、ロサンゼルス）
合計			426 名	*絵画コンテスト「空の日」賞入賞者 1～2 名を含む。